

平成25年度弘前大学 F D ワークショップ（第16回）

パフォーマンス評価を取り入れてみる



アクティブ・ラーニングの導入

導入の理由と、その実施形態

アクティブ・ラーニング導入の理由

- パラダイムシフトの転換
 - 「教員中心」から「学習者中心」へ
 - 「何を教えるか」から「何ができるようになるか」へ
- 従来の知識伝達形式の科目では、学生の多様性，創造性，チャレンジ性，個別性，能動性，リーダーシップ性などの涵養が難しい。実践知や応用知の獲得も難しい。
 - アクティブ・ラーニングが有効である。
- 講義形式の科目においても，**学生が主体的に学ぶ活動**を含むのであれば，アクティブ・ラーニング科目と呼べる。

出典：山田礼子（2013）「大学教育の再構築：アクティブ・ラーニングを支える環境の整備」大学マネジメントセミナー国立大学協会（2013年11月12日）配付資料。

アクティブ・ラーニングの要素

- 講義科目におけるアクティブ・ラーニングの要素には、主に下記の形態が考えられる。
 - レポート
 - グループワーク
 - ディベート
 - プレゼンテーション
 - フィールドワーク
 - リフレクション
- 15回の授業の中で、1回でもアクティブ・ラーニングの要素を含む授業があれば、その講義は「アクティブ・ラーニング科目」である。

グループ討議の内容

シラバスの見直し

科目の到達目標の評価方法

- 自らの科目の到達目標（学生の学習成果）は，従来のペーパーテストのみで測れているのかを再考してみる。



- 測れていない（測るのは難しい）目標があるのならば，授業中の学生のパフォーマンス（特に主体的な学修）を評価することで測れないか，考えてみる。
 - **どのパフォーマンスを対象**とするか。
 - **どのように評価**するか。
 - そのために，学生に**どのような活動**を促すか。

（注）必要であれば，到達目標の加筆修正も考えてみる。

シラバスの見直し

- パフォーマンス評価の方法をシラバスに書き込む。
 - 「成績評価方法及び採点基準」を加筆・修正する。
- 学生に期待する，授業中のパフォーマンスを書き込む。
 - 「授業形式・形態及び授業方法」を加筆・修正する。
- 授業内容に変更を加える場合は，下記の項目も見直す。
 - 「授業の概要」
 - 「授業の内容予定」
 - 「準備学習（予習・復習）等の内容」
 - 「留意点・予備知識」

グループワークのスケジュール

- 各自のシラバスを見直す（10分）。
- 見直した内容を，ペア・ワークで議論する（5分）。
- 議論の結果を反映させる（5分）。
- 班のメンバーに見直した内容を説明する（3分＊人数）。
- 班の代表を選び，発表資料を共同で作成する（20分）。

発表資料の内容

- 発表資料において、下記の項目を明示する。
 - 科目名
 - ペーパーテストで測れていない到達目標（学習成果）
 - その目標の到達度を測る対象となるパフォーマンス
 - そのパフォーマンスの評価方法
 - 修正したシラバスの内容

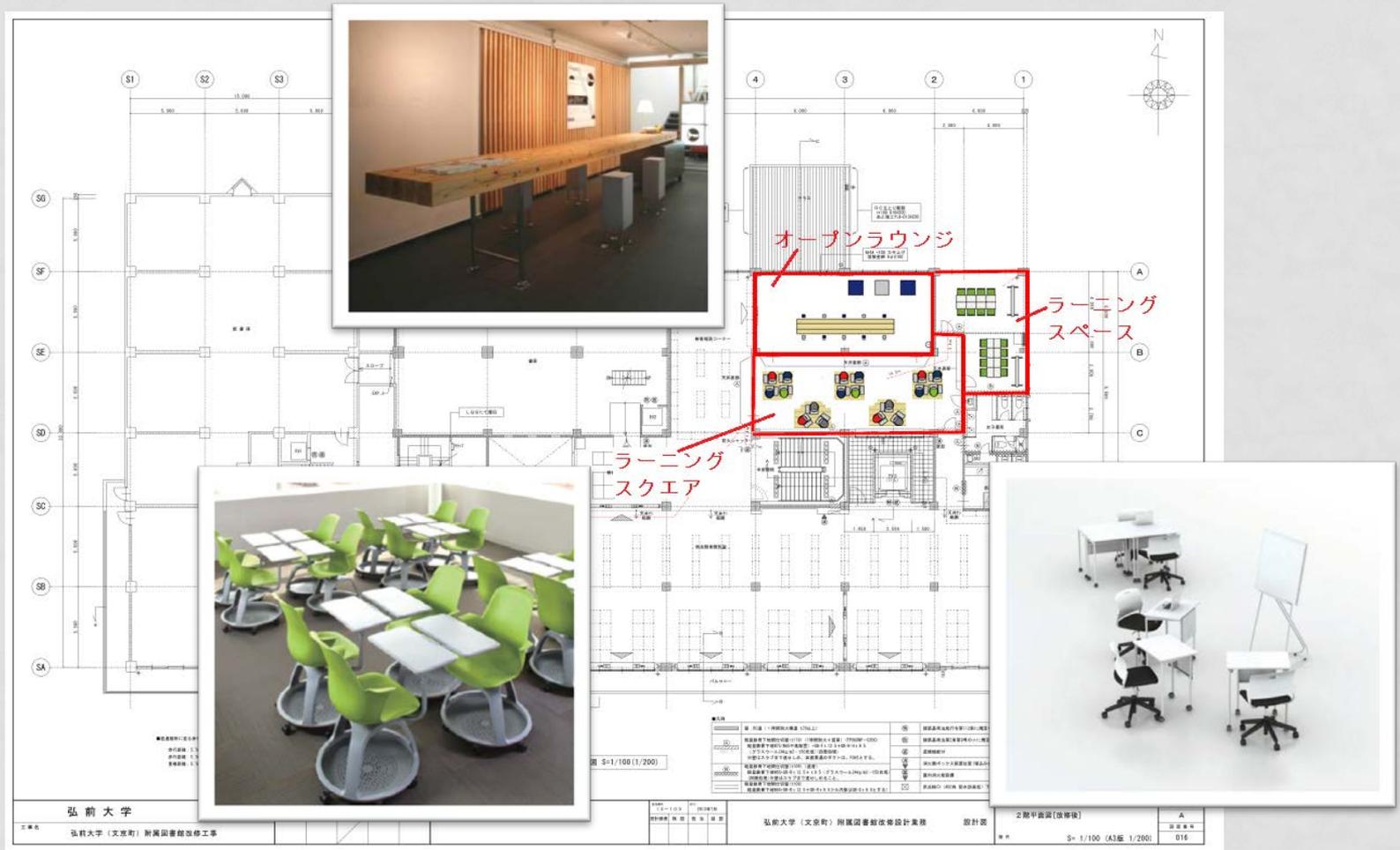
附属図書館ラーニングコモンズ

整備状況について

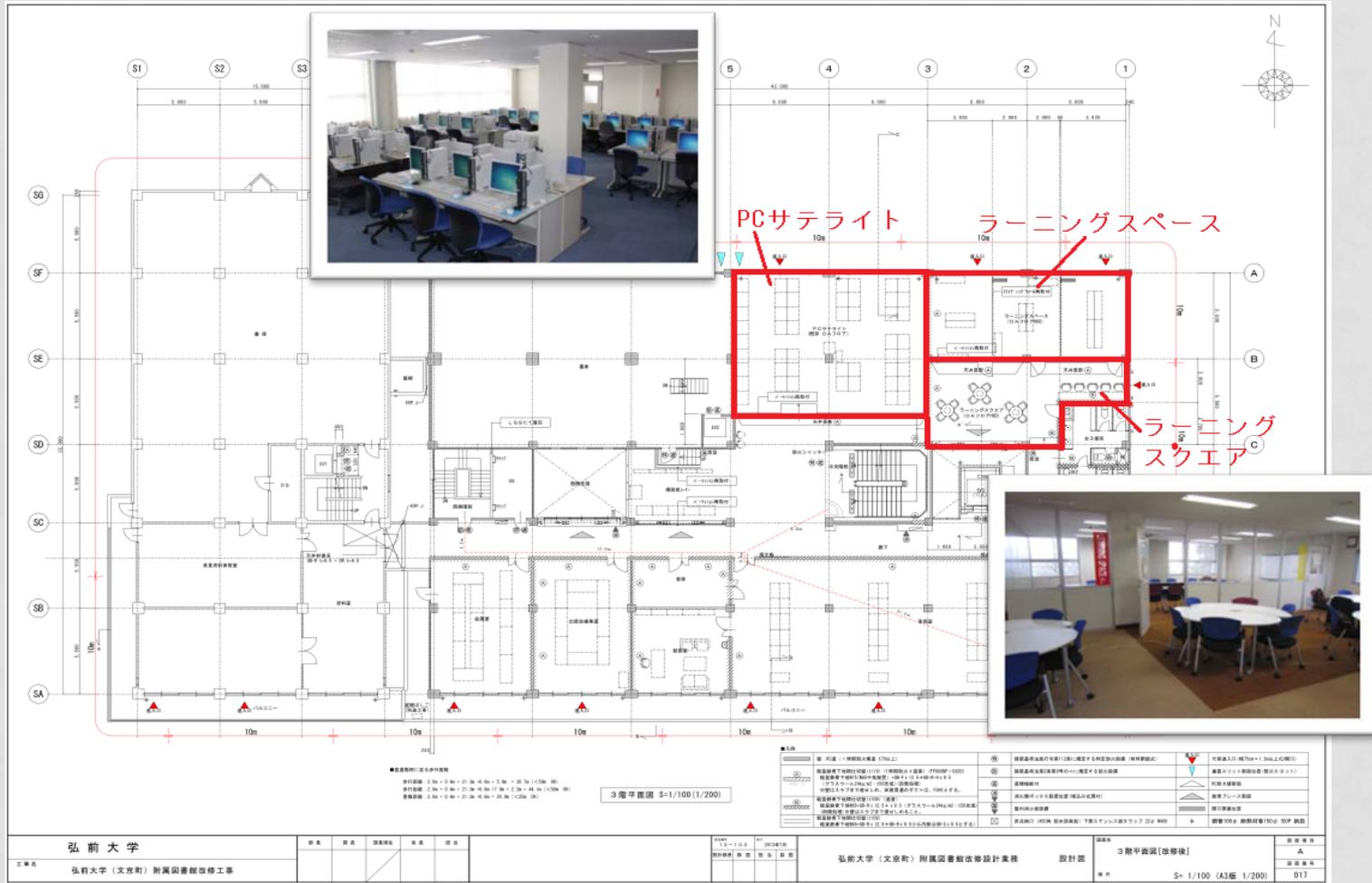
ラーニングコモンズ整備状況

- 弘前大学附属図書館のラーニングコモンズ整備状況
 - 平成23年2月：附属図書館3階にPCサテライト（PC50台）を整備。
 - 平成23年10月：附属図書館3階にラーニングスペース（3部屋、座席数30）及びラーニングスクエア（勾玉テーブル10台、座席数30）を整備。
 - 平成26年5月（予定）：3階に加え、2階にもラーニングスペース（2部屋、座席数16）及びラーニングスクエア（テーブル付チェア18席）、新たに飲食可能なオープンラウンジ（座席数10、ソファ3台）を整備予定。

附属図書館2階 (改修後増設分)



附属図書館3階 (既整備分)



各部屋の使用法

- **ラーニングスペース**（Learning Space：グループ学習室／2階2室、3階3室）
 - 可動式の机・椅子・電子ホワイトボードを用意し、各室を仕切っているパーティションを取り外すことにより多人数（2階は最大16名程度、3階は最大30名程度）での利用も可能としています。少人数のグループ学習やゼミ発表等のリハーサル、セミナー開催など多様な学習スタイル対応しています。液晶プロジェクター、館内貸出用PCも整備しておりますので、是非ご利用下さい。なお、ラーニングスペースの利用予約は電話又は直接来館による予約もできますが、図書館HPのMy Libraryからも申請できます。
- **ラーニングスクエア**（Learning Square：個別学習エリア／2階18席、3階30席）
 - 無線LANの環境が整備されており、持込のPCを利用することができます。2階はテーブル付チェア18席、3階は勾玉テーブル（30席）を用意。利用予約の必要はありませんので、個人でのレポート作成、グループでのディスカッションなど、多様な利用を可能としたスペースです。自習のための新たな空間を是非ご利用ください。
- **オープンラウンジ**（Open Lounge／2階 10席＋ソファ3台）
 - 今まで図書館は飲食禁止でしたが、勉強の合間のリフレッシュ空間として、飲食可能なオープンラウンジを新たに整備します。このオープンラウンジの中だけは飲食可能となりますので、お気軽にご利用ください。
- **PCサテライト**（PC Satellite／3階 PC50台）
 - 総合情報処理センターのパソコン端末50台が設置されています。学内の立地条件に恵まれているせいか、同センターが設置しているPCサテライトのうち、最も利用率の高いサテライトとなっています。ログイン用IDをお持ちの方であれば、レポート作成等に自由に利用することができます。

それでは、メンターの司会の下で、
作業を始めてください。

田中正弘（21世紀教育センター）